

港北区災害ボランティア連絡会 News



事務局 〒222-0032 横浜市港北区大豆戸13-1吉田ビル206 港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

FB 港北区災害ボランティア連絡会

123号

2023年12月



* 入会は随時受け付けています。

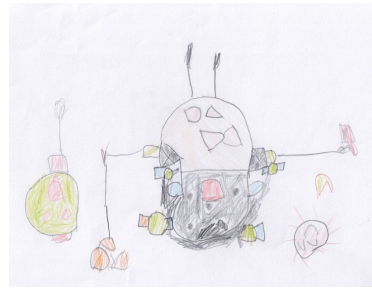
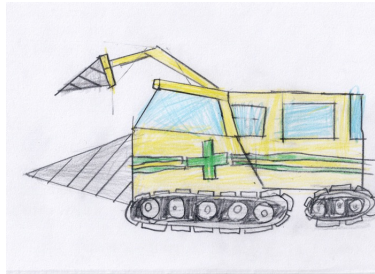
* あなたの町の防災度を高めるためにお力を貸してください。

(第3回) 防災・減災イラストを開催します

港北区災害ボランティア連絡会では、防災や減災に役立つ素敵なアイデアの詰まったイラストやポスターを昨年に続き募集します。今年度は、募集対象を港北区内在住・在学の小学生の皆さんに絞らせていただきました。

小学生ならではの、柔軟で素敵なアイデア満載のイラストをお待ちしています。

ご提供いただいたイラストから、優秀作品には素敵な賞品を、また、イラストをご提供いただいた方全員に、防災用品を差し上げます。



- 1：募集期間 2023年12月1日（金）～2024年1月15日（月）必着
- 2：募集対象 横浜市港北区に在住・在学の小学生
- 3：応募作品のデータ形式 jpg または pdf または HEIC または A5サイズ以下の印刷物
- 4：作品のサイズ A5サイズ以下
- 5：応募作品の提出方法 メールでの送付 または 郵送
応募作品送付先メールアドレス
kohoku_saibora_bsy8@icloud.com
応募作品住所
〒222-0022 神奈川県横浜市港北区篠原東3-2 1-3 6 中島一郎 宛

6：注意事項

応募にあたっては「ファイル名」「製作者のお名前」「連絡用メールアドレス（代表者のみでも可）」「賞品発送先住所（代表者のみでも可）」「年齢または学年・学校名」をご記入の上メールまたは郵送にてご送付ください。（様式任意）

応募いただいた作品の著作権は、港北区災害ボランティア連絡会に帰属します。ただし、応募者ご本人が応募作品を使用される場合は、港北区災害ボランティア連絡会への連絡・承諾は不要とします。既存のキャラクターや著作権のあるイラストなどの使用は控えてください。応募作品は理由の如何を問わず、返却致しません。

本件に関するお問い合わせは、上記応募先までメールにてお願いします。

「安全」を基準に買い物する

買い物するとき気になるのは価格ですが、その次に「安全」を基準にするものもありますね。その最大のもは家でしょうが、最近私が安全を基準に買ったものに自転車用ヘルメットがあります。今年4月から自転車乗車時のヘルメットが推奨義務となりました。売り場には多くのヘルメットが並んでいますが、3000円弱から10,000円越えまで値段帯が分かれています。どれも同じように見えるし、安いものも鮮やかなカラーで見栄えも良いのでつい手が出がちです。



その中に前後にライトが付いている製品を見つけました。後部は赤く光り車からもライダーの存在がよくわかるはずですが。週に一回は必ず夜自転車で出る仕事がある私としてはこれに飛びつきました。ただ色は黒一色しかないようで、形もロードレースタイプの流線形とは違いずんぐりした円形で、ちょっとおしゃれ感が薄いのが残念です。

しかし購入した後に店員が「ヘルメットは中のウレタンが劣化するから3、4年で買い換えるのがいいですよ」だって。そうすると購買理由にいろいろ価格が大きなウェイトを占めることになりそうですね。

ただ気になる光景を街中で見かけます。お子さんにはヘルメットをかぶせても自分がかぶっていない親御さんが圧倒的なのです。これでは万が一の場合自分だけでなく、子どもたちを守ることもできません。みんなでかぶろうヘルメット！です。
(宇田川)

ハザードマップ

港北区洪水
ハザードマップ(右)



1 はじめに

2023年7月の秋田県での大雨では、大変な被害が出ました。また、2023年8月には、関東で大雨や落雷に見舞われ、横浜市内では1700世帯以上が停電しました。いつ、このような被害に遭うかわかりません。その時のために、少しでも備えておきましょう。

2 大雨で怖いのは

大雨の際に怖いのは、「河川の氾濫」「下水道の逆流」といった事がまず考えられます。

そこで横浜市では、多くの「ハザードマップ」を作成しています。

3 港北区洪水ハザードマップ

まず紹介するのは、「洪水ハザードマップ」です。想定しうる最大量の降水で、鶴見川水系の河川が氾濫した場合に、浸水の被害がどのくらいになるか、まとめたものです。マップの左下に、避難場所の名称も記載されています。

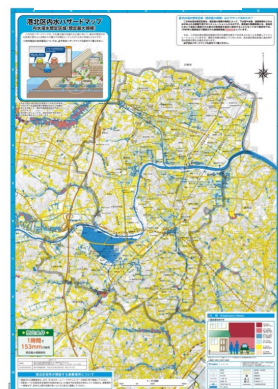
4 港北区内水ハザードマップ

「内水ハザードマップ」は、想定しうる最大量の降水があった場合、下水道の能力を上回ってしまい、浸水が想定される地域について記載しています。

5 想定外は起きる

上記のハザードマップでは、降水量を想定していますが、**想定外は必ず起きます**。警報や避難勧告が出たならば、素早く避難するようにしましょう。

港北区内水
ハザードマップ(下)



防災拠点訓練の新しい取り組み

～受付デジタル化、防災度シール投票～

今年2カ所の拠点訓練(菊名小、大豆戸小)を見学していろいろな気づきがありました。

菊名小では住民がどのくらい防災対策を行っているかをシール投票で可視化する試みが行われました。受付でシールをもらい、参加者は自宅の防災度に見合った欄にシールを貼っていきます。全部の参加者が貼ったのではないかと思うほど良い反応でした。また参加者も良い試みだと仰っていました。シール投票の良いところは自宅の備えについて考えるきっかけになることです。合わせて問題文に対応する被害写真も掲示しましたから啓発と言う意味でもより深く考えてもらえたのではないのでしょうか。

一方ガラス破損の怖さを知ってもらうため、体験シートを校庭に並べ裸足で歩いてもらっていました。しかし中には「こんなのへっちゃら」と豪語する子供もいて、この体験の意味(災害時に1つでもガラスがささってしまったら、即行動力に大きな制限が出る怖さ)をきちんと指導できる係りをおくことが大切だと感じました。同じ事は起震車体験でもよく起きるのです。「こんなのへっちゃら」を克服する指導は必須です。

大豆戸小では昨年取り組んだ受付のデジタル化の訓練が1歩進んだ形で行われました。受付はQRコードの読み取りで行う実験に横浜市も参加したのです。これは全市的な取り組みにつなげるための検証だそうです。多くの人がスマホを持つ現在、このシステムが導入されれば避難所登録の人手が大幅に軽減でき、その分の力を初期に起こりがちな避難所内の混乱を解決するために割くことができます。結果が楽しみです。


どちらの取り組みも連絡会会員も含む地域住民のアイデアを運営委員側も取り入れ協力し合う形で実現しました。これからもこのような協働作業が進むといいですね。(宇田川)



明日をひらく都市
OPEN・PIONEER

避難所受付のデジタル化に向けた検証にご協力をお願いいたします！！

！避難所受付フォームQR！



■ 協力をお願いしたい内容・手順

- ① 左のQRコードを、スマホのカメラ等で読み取ってください。
- ② 入力画面が表示されますので、必要事項を入力してください。
- ③ 続けてアンケートに回答いただき、ご感想やご意見をお聞かせください。
- ④ 最後に「申請する」をタップして完了です。

※ アンケートを含め、所要時間は3～5分ほどです。

■ 何の検証をするの？

今後、避難所受付をデジタル化するシステムを、地域防災拠点へ導入していくための検証を行います。
実際にそのシステム(テスト版)を、訓練参加者の皆様にお使いいただき、ご感想やご意見をお聞かしています。

防災コラム 「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(略称、支援P)」

企業、社協、NPO、共同募金会が共同するネットワーク組織です。災害ボランティア活動の環境整備を目指し、人材・物資・資金を有効に活用するため現地支援を行います。

平常時には災害支援に関わる調査研究や人材育成、啓発活動を行い、災害時には災害ボランティアセンターの円滑な運営のための多様な機関・組織・関係者等と協議して被災者支援に当たります。

災害が起こると先遣隊を派遣して状況を調査し、ボランティアセンターの立ち上げ支援や関係機関との連携共同のネットワーク作り、センター活動に関わる資機材調整などを行います。(宇田川)

今年のセミナーを振り返る～横浜市のトイレ対策

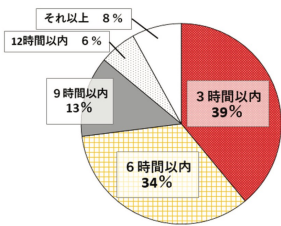
昨年、トイレ問題を取りあげ、横浜市資源循環局家庭系対策部街の美化推進課の望月様に「横浜市のトイレ対策について」の講演をいただきました。今年度も2024年1月28日（土）に、港北区社会福祉保健活動拠点3階多目的研修室で、災害時のトイレ問題をテーマにセミナーを開催します。今年度のセミナーに備えて、昨年度のセミナーの内容を少し振り返ってみようとおもいます。望月様の講演資料から、いくつかスライドを選んでみました。少し小さくて申し訳ありません。

災害時のトイレ問題



熊本地震(2016)

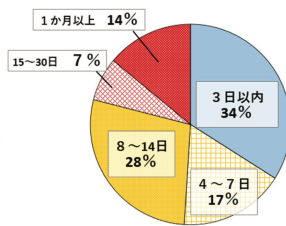
Q 熊本地震発生後、最初にトイレに行きたいと感じた時間はどのくらいか



6時間以内に7割以上がトイレに行きたい

東日本大震災(2011)

東日本大震災で仮設トイレが被災地にいきわたるまでに要した日数



4日以上要した自治体が6割以上

出展：避難所におけるトイレに関するアンケート調査(大正大学調査)

出展：内閣府防災担当「避難所におけるトイレ確保・管理ガイドライン」(名古屋大学調査)

横浜市の災害時のトイレ対策



地域防災拠点での備蓄

| 種類 | 備蓄数 | 備考 |
|---------------------|----------|---------------------|
| くみ取り式仮設 | 2基 | 洋式・和式両方ある(拠点により異なる) |
| 簡易トイレ | 6基 | トイレパックとセットで使用 |
| トイレパック | 5,000セット | |
| 下水直結式仮設トイレ(ハマッコトイレ) | 5基 | 令和5年度末までに全ての拠点で整備予定 |

5

横浜市の災害時のトイレ対策



地域防災拠点での備蓄

くみ取り式仮設トイレ 2基



トイレパック 5,000個(1日分) 簡易トイレ 6基



平成21年度から下水直結式仮設トイレの整備

6

横浜市の災害時のトイレ対策



横浜市の備蓄について

| | | |
|------------|------------|---|
| くみ取り式仮設トイレ | 約1,000基 | 地域防災拠点、津波代替拠点、資源循環局事務所 |
| トイレパック | 約470万セット | 地域防災拠点、津波代替拠点、資源循環局事務所、方面別備蓄庫、広域避難場所資器材庫、帰宅困難者用倉庫、帰宅困難者一時滞在施設 |
| 簡易トイレ | 約3,400基 | 地域防災拠点、津波代替拠点、広域避難場所資器材庫 |
| トイレ用テント | 約670張 | 広域避難場所資器材庫 |
| 下水直結式仮設トイレ | 約2,400基(※) | 地域防災拠点、市・区役所、市医療機関(一部) |

※令和5年度末までに整備完了予定。今年度末で約9割整備完了予定。

12

セミナーはどなたでもご参加いただけます。下記からお申し込みください。

★申込方法:※※※ 下記 Google フォーム または 事務局宛にお電話ください★

申し込み用 Google フォーム(2次元コードからでも大丈夫です)

https://docs.google.com/forms/d/1081yyCUHGikWbSyXZW_bdXvF4PkMOqc7zj08Pf844nc/edit



【編集後記】

- ✓ 地域によってインフルエンザが猛威を奮い、近隣の小学校では学級閉鎖も出ているようです。引き続き、予防に努めていきたいと思えます。(鴨下)
- ✓ 漫画「アンメットーある脳外科医の日記ー」第5～8話で失語症が取り上げられています。ネットで無料購読できますので、検索してみてください。(室伏)
- ✓ この春、生まれて初めて、ヘルメットを購入、使用しています。少し恥ずかしいような感じですか。街で行き交う人は、3割くらいの感じがします。(付岡)
- ✓ インフルエンザの予防接種されましたか？予防接種などの感染症への対策も防災・減災ですね。(中島)